

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2013年3月18日]

3月の農業情報

タイトル 第4回輪ギク栽培の環境制御勉強会を開催

とき 平成25年2月7日(木)

ところ トハヨシ種苗(株)渥美支店および現地

主体・対象 輪ギク農家7名

内容

近年、輪ギク栽培において、炭酸ガス施用による品質向上効果に対する関心が高まっている。現在、田原管内では8戸の農家が炭酸ガス発生装置を導入しているが、その稼働方法はまちまちである。

そこで、農業改良普及課は、環境制御方法の情報の共有化を図るため、トヨハシ種苗と連携して、炭酸ガス発生機の導入農家を対象に11月から定期的に勉強会を開催している。4回目となる今回の勉強会には7名が参加し、炭酸ガス施用施設の視察と、温湿度管理や炭酸ガスの施用方法について意見交換が行われた。

農業改良普及課では、本勉強会参加者の施設内で炭酸ガス施用区と無施用区を設け、炭酸ガスの施用効果の検証に取り組んでいる。消灯1ヶ月後の調査では、炭酸ガス施用により切り花のボリュームは向上しているが、開花は3～5日遅れる見込みである。今後、栽培管理や施設内の環境データをもとに開花遅延の原因を明らかにしていく。



勉強会のようす



炭酸ガス施用施設での栽培指導のようす